



正門とテーマ塔



正門と
テーマ塔
起ち上る力の象徴
眼奪うざん新壯麗さ



平和橋

会場にかかる虹 三万坪を一望に
 正門を入つて間もなく、なだらかなカーブを
 描いて横たわる美しい陸橋——その名も平和橋
 にさしかかる。
 日毎幾万の観衆——その人波がこの一点で立体的に
 クロスして、一方は吸い込まれ一方は送り出されてゆ
 く光景は正に圧巻である。
 橋の頂上に立つと第一会場の五十館に近
 い各建造物が一望におさまられ、その壮観
 に感嘆して動くことを忘れてしまう。



平和橋

会場にかかる虹 三万坪を一望に



大噴水

飛沫五彩に映えて
 平和橋を渡り、美しい花壇と福井の作家たちによつて造られた彫刻群を左右に眺めながら行くと円形の大噴水に行き当る。
 清水を満々とたたえた水面に、福井復興館の白亜の殿堂が清楚な影を映している。三段の噴水塔から噴き上げる飛沫が描く虹の光彩は、五月晴の感触を一しおさわやかなものにする。



福井復興を讃えることば

内閣総理大臣 吉田 茂

わずか五年の間に、戦災、烈震、水害、台風禍など、相次ぐ壊滅的試練を受けられた福井県、市民諸君が、雄々しくも廢墟の上に取り上り、よき指導者のもと心を協せ新たに近代文化による郷土建設の大目標を、目ざして日夜不撓の努力を続けておられる郷土愛に対し衷心より敬意を表するものである。
 しかも今日、その偉業の半ばを遂げられ、華々しく福井復興博覧会を開催せらるるに至つたことは洵に喜びに堪えない次第である。
 郷土愛は祖国愛に通ずる。よろしく禍を福に転じ、理想郷土の具現に尽力せられ、新生日本の再建に寄与せられるよう祈念してやまない。
 昭和二十七年陽春



福井復興館

不死鳥福井の記念塔

第一会場のトップを飾る白亜の殿堂——度び重なる災害から雄々しく立ち上った福井県、市民の泪ぐましい努力の跡を誇示する記念塔であり、災害犠牲者達への供養塔でもあり、そして又当時寄せられた全国よりの同情と援護に対する感謝の塔でもある。

まず福井県、市民の不撓不屈の復興意欲を象徴する「不死鳥」の姿が正面に大きく浮き彫りされ、館内には、福井人でさえ初めてみる貴重な資料が、或はパノラマ、シナラマとして或は写真、図表として、或は実物を以て系統的に構成配列されてある。



平和への歩み



大噴水
飛沫五彩に映えて



平和への歩み

新生日本の再發足を慶祝

講和条約の締結を記念し、新生日本の前途を祝福するため、国連参加の各国旗が色とりどりにへんばんと翻つてゐる。美しい花壇、平和をシンボライズする幾つかの白亜の立像、高く立並ぶオープン壁面——そこには世界平和の建設を目指して不断の努力を続ける国連の活動状況を力強く表現し、特にユネスコ活動についてわかり易く紹介されている。

道元禪師奉讃館

貴き御生涯を目のあたり

一、日月の光と共に
とこしえに輝きわたる
み法をば伝えたいし

二、曹洞の流れ尽きせず
法燈はいよいよ教増し
諸人のひとしく仰ぐ

三、七百年は経りたれ
峰の色谿のひびきに
永平寺今なほはす

あ、開祖道元禪師
あ、開祖道元禪師
(本間順光作)

道元禪師の七百回大遠忌が大
本山永平寺に於て厳修される。
この遠忌を奉讃するため、御
本山出品の国宝、寺宝、古文獻
の數々を陳列し、新様式による
ジオラマ等を配して禪師の事蹟
をしのび、福井が誇る名刹の全
貌を紹介し、精神文化の昂揚に
資するところが大きい。



① 織 維 日 本
 豪 壯 華 麗 ! 正 に セ ン イ の 桃 源 境
 織 維 王 国 七 館 の 中 の 一 つ — 豪 華 な こ の 建 物 の 入 口 を く ぐ っ て み
 る と、内 部 の 配 列 は 生 糸、紡 績、化 織 の 三 部 門 に 大 別 さ れ、織 維 日 本
 を 代 表 す る 優 良 メ ー カ ー の 権 威 有 る 出 品 は、新 手 法 に よ っ て 最 高 度 に
 発 揮 さ れ た 展 示 技 術 と 相 俟 っ て 全 館 真 に 豪 華 絢 爛 た る セ ン イ の 桃 源 境
 の 観 を 呈 し、織 維 産 業 躍 進 の 現 況 を 一 望 に 捕 え る こ と が 出 来 る。

織 維 日 本



② 織維ホール

世界風俗の大集成ここに成る

二階建の美しく珍しい円形の建物——これも織維七館の一つで、全国知名商社の出品による優秀セーイ製品を世界の衣生活に直結して美しく陳列されてある。五彩のネオンの下、さながら世界風俗の縮図ともいふべき絢爛たる大ホールで、織維に因む種々の行事も会期中この中で行われる。



織維ホール

◆ 織維七館

大膽にしてゼイを盡した展示様式
博覧会史上の一大エポックか——

福井復興博は通称を織維博といわれる通り、豪華絢爛たる織維関係七館は正に第一会場の圧巻である。この七館の建設費七千万円、出品総額八億といわれる。特に「織維日本」と「織維ホール」の如きは、そのざん新な建築構想、大胆な展示様式、ゼイを尽した出品物——外国に於ける一、二の例を際しては、我国では未曾有のものであつて、正に博覧会史上の一大エポックを招来したものと云えよう。

④ 糸から織物へ

興味あるモデル工場出現
糸から織物への生産過程を演じて、興味深く視覧に供する近代織維工業のモデル工場である。



③ 織維の知識

豊富な図表・写真・模型・生きた織維百科辞典
業の発展史、その他織維に関する一般常識が平易簡明に解説されており、日清衣生活の立休辞典、中小生社公科教材の監修も請うた。JAPANの織維工



⑥ 全国織維の展覧

織維万国めぐりとも謂うべき全国各地の織維製産品を網羅陳列し、居ながらにして新界の全貌を展覧することが出来る。

⑦ 織物レポート

よき品を安しおみやげに
織維レポート各館を一巡りして強進織維日本の現状を力強く印象づけられた報告に極感ある出品者の優良製品を選取即売して本博覧会のおみやげを兼ね、一般需要に充てるために特設されている。

織維の知識

豊富な図表・写真・模型・生きた織維百科辞典

業の発展史、その他織維に関する一般常識が平易簡明に解説されており、日清衣生活の立休辞典、中小生社公科教材の監修も請うた。JAPANの織維工

織維レポート

よき品を安しおみやげに

織維レポート各館を一巡りして強進織維日本の現状を力強く印象づけられた報告に極感ある出品者の優良製品を選取即売して本博覧会のおみやげを兼ね、一般需要に充てるために特設されている。



樂焼の家

数寄をこらした茶寮

観光ガーデンの中に造られた風雅な建物——今日の記念に、想い出に絵筆を執つて茶碗に描く文字や絵、粋をこらした茶室で喫する二服の茶の味は、忘れることの出来ない福井博の想出の一つであらう。



観光ガーデン

新様式のジオラマスタンド

福井博で採り上げた変つた趣向の一つ——に観光ガーデンがある。
 五百余坪の庭園をそぞろ歩きながら、福井県内の名勝観光地——東尋坊・芦原温泉・永平寺・九頭竜峯・金ヶ崎の桜・松原公園・蘇洞門・三方五湖等々、新様式のジオラマスタンドやシンボルアップでたのしく観れるという仕組み。館内で疲れた眼を休める床しい施設の一つである。

郵政館

聲の郵便も
 無料で吹込

世界をつなぐ平和の使徒——郵便の果すいろいろの使命を面白くたのしくジオラマ、パノラマとして展示し、郵便のニューフェイス「声の郵便」を開期中館内で希望の方に無料で録音して進呈する。

生活と文化

新しい人生教室

第一会場の中央に位置するシックな建物である。
 平和にして合理的な文化日本建設のために、最も身近かで切実な諸問題とありあげて新しく正しい知識を与えるこの館は、われわれに益するところが大きい。
 旧習を打破し、しかも徒らに新しさを追つて高嶺の花になることを避け、平易に且つ興味深く表現するために格別の努力が払われている。





二つ分て全国旅行
観光を兼ねた新しい配列

従来他の博覧会では「府県館」とか「全国館」の名で以て呼ばれた施設——その名も「国土の産業」と呼び、内容も又、観光地その他各地のローカルカラーを背景としてそれぞれの特産品を展示。日本を三分して東日本、中部日本、そして西日本の三館におさめてあり、いそいで歩けば二十分て全国旅行が出来るといふわけである。

いすゞ館
ニッサン館
トヨタ館

いすゞも現代日本自動車界の最高メーカーを以て誇る三社が夫々御自慢の製品を陳列して、明るい日本の将来を描き出している。

佛 教 館

厳かな「法の殿堂」

仏教王国福井のシンボル——仏教館では、釈尊の御一生、親鸞聖人、蓮如上人の御一代、各宗各派の教義の紹介、史的展望、はては門外不出の寺宝や貴重な参考品が陳列されて、善男善女合掌して悦びに浸る厳かな法の殿堂である。

新 しい 工 業

近代工業の粋をあつめて織維関係を除く日本近代工業の粋ともいふべき代表メーカーの製品を陳列して、躍進日本工業の力強さを紹介している。

製材木工機械館

機械の演習や説明會も

これも今度の福井博で初めて生れ出した新しい施設の一つ——一般に縁遠い機械類だけに興味を以て見ることが出来る。会期中機械の実験や説明會が催される。

国 鐵 館

初めて全国にお目見得

福井博で初めて全国にお目見得の特設館。国鉄御自慢の豆電車を始め、各種の貴重な資料——つい汽車に乗って旅行に出かけたくなるたのしい館内。

郷土の産業

お國自慢の数々を

織維関係以外の福井県内の生産品を陳列して産業復興の実情を紹介し、の品質改善、生産拡充に資してをい。



特産品の出来るまで

学生には生きた社会科
代表的県内特産品をとり上げ、その製造工程を実演して興味を添え、内外に紹介する。





芸能センター
連日一流メンバー出演
無慮三千人を収容する豪華なシアター、
福井復興博の想出として忘れられない
もの一つである。
ここでは連日、日本一流の芸能人を以する豪華演奏、NHKおなじみ番組の
実演等プログラムは盛沢山に仕組まれていて日の短いのを惜しまれるところだ
ある。

農村の機械化

日本一の農機具
従来博覧会で農機具館として造られるのは、馬小屋、豚小屋と謂われ
る程粗末な施設であるが、今回の福井博では農村機械化の重要性に鑑
み、五百坪の敷地に本格的な木造の陳列場を設け豪華な農機具展を開く
と共に、会場の中央広場を実演場として、毎日全国有名メーカー出品の
農機を実動して農村からの視客の眼をたのませるのである。

あなたのでんぼうと電話

会場から電報も打てます
何の苦もなく打つたり、かけたりにしている電報と電話——一体どの様にし
て、どうなつて向うへ届くか——社会科の勉強には勿論、すべての人がぜひ一
応知っておきたい見どころのある出品展示。館内では電報の取扱いもしてくれ
る。

電気館

新しき時代に生きるよろこび
近代文化の粋とも謂うべき電気、電力に関する豊富な資料、
取りそろえ、文字通り明るく、美しく展示され、新しい時代に
生きる夢とよろこびをほのかにゆする。

自然の恵み

農村漁村の夢を盛つて
山の幸・海の幸——農林水産の全貌を描き出し、その加工製
品、関係器具、資材等を紹介する。農山、漁村の人達にとつて
の生きたテキストであり、たのしい夢でもある。



郷土の開発

雄大なオープンパノラマ

郷土福井県の総合開発を描き出した幅百五十尺の
一大オープンパノラマ——何と雄大な眺めであろう。
未だかつてこの様な大きなパノラマが作られたであ
らうか。
九頭竜川上流の電源、林産、鉱産、観光等の資源
開発と、治山治水、利水による越前平野の乾田化、
食糧増産計画、越美線の開通をはじめとする交通施
設計画、武生市を中心とする特産工業の発展、敦賀
港の建設、嶺南三方五湖及び若狭湾一円を包含する
国立公園の実現など、あらゆる県民の夢を完全にこ
の大パノラマにおさめられている。





日本の水道

全国で初めての變つた企劃
上下水道の現況一見

全国で初めての施設、そして福井
博でも變つた形の施設の一つに水道
館がある。

まず大ヒューム管を入口としてそ
れをくぐつて入ると円型の館の中
は、我国の上下水道の現況、全国から
蒐集した上下水道の新しい橋具、諸
材料等一見してわかり、出口は又大
きな鉄管でそれをくぐりぬけて外へ
出る——という仕組みである。